

## 国土交通大臣が「平成31年新春賀詞交歓会」にご臨席

平成31年1月16日に東京都千代田区の都市センターホテルで「PC建協新春賀詞交歓会」を参加者600人以上の盛況の中で開催しました。今回は石井啓一国土交通大臣にご臨席を賜り、新年の挨拶を頂戴しました。



▲ 賀詞交歓会で挨拶する石井大臣

## 全国からの開通情報

## 【東北支部】

三陸沿岸道路（釜石南IC↪釜石両石IC）・東北横断自動車道 釜石秋田線（釜石JCT↪釜石仙人峠IC）・（遠野住田IC↪遠野IC）開通

平成31年3月3日に岩手県遠野市の東北横断自動車道釜石秋田線遠野住田IC↪遠野IC（延長11km）が、

また9日には同線釜石JCT↪釜石仙人峠IC（延長6・0km）と三陸沿岸道路釜石南IC↪釜石両石IC（延長14・6km）が開通しました。

9日の開通式では安倍晋三首相や自治体関係者が出席し、テープカット、くす玉開披などが催されました。

その他

- ・国道45号上北天間林道路（上北IC↪七戸IC）
- ・三陸沿岸道路（唐桑小原木IC↪陸前高田長部IC）
- ・東北中央自動車道（東根IC↪東根北IC）

## 【関東支部】

新東名高速道路（厚木南IC↪伊勢原JCT）開通

平成31年3月17日に神奈川県の新東名高速道路厚木南IC↪伊勢原JCT（延長約4km）が開通しました。これにより東名高速道路と圏央道が連結されたことで渋滞緩和などが期待されます。

地元関係者など約350人が出席した伊勢原市での開通式では、テ

テープカット、くす玉開披、通り初めなどが催されました。



▲ 厚木南ICでの開通式（提供：日刊建設工業新聞）

中部横断自動車道（新清水JCT↪富沢IC）・（下部温泉早川IC↪六郷IC）開通

平成31年3月10日に中部横断自動車道の新清水JCT↪富沢IC（延長約21km）と下部温泉早川IC↪六郷IC（延長約8km）が開通しました。静岡市清水区の（株）アイエイアイ原事業所での開通式には石井啓一国土交通大臣や自治体関係者など約450人が出席しテープカットが催されました。また富沢ICでは風船飛

ばしや通り初めなどが行われ、今回の開通を祝いました。



▲ 中部横断自動車道 興津川橋

**【北陸支部】**  
**国道253号上越魚沼地域振興快速道路 上越三和道路（寺IC～鶴町IC） 開通**

平成31年3月24日に国道253号上越魚沼地域振興快速道路（上越三和道路）寺IC～鶴町IC（延長3.0km）が開通しました。

上越市の上越除雪ステーションでの開通式には地元関係者などが出席し、地元中学生による演奏、テープカット、通り初めで今回の開通を祝いました。

**【中部支部】**  
**新名神高速道路（新四日市JCT～亀山西JCT）・東海環状自動車道（大安IC～東員IC） 開通**

平成31年3月17日に新名神高速道路新四日市JCT～亀山西JCT（延長22.9km）と東海環状自動車道大安IC～東員IC（延長約6.4km）が開通しました。これにより東名阪自動車道の渋滞が9割減、伊勢への観光客も前年比3倍増の見通しとなりました。



▲ 新名神高速道路 菰野第二高架橋

その他  
 ・三遠南信自動車道（佐久間川合IC～東栄IC）

**【中国支部】**  
**山陰自動車道 多伎・朝山道路（出雲多伎IC～大田朝山IC） 開通**

平成31年3月17日に鳥根県の山陰自動車道多伎・朝山道路出雲多伎IC～大田朝山IC（延長9.0km）が開通しました。出雲多伎ICでの開通式には地元関係者など約250人が出席し、テープカットや通り初めが催されました。

**【四国支部】**  
**高松自動車道（鳴門IC～高松市境）4車線化 完成**

平成31年3月8日に高松自動車道



▲ 高松自動車道 4車線化完成式

暫定2車線区間の鳴門IC～高松市境（延長42.9km）の4車線化が完成しました。これにより同区間の渋滞が緩和され最大55分短縮される見通しです。また高松自動車道全線が4車線での供用となりました。

**【九州支部】**  
**南九州西回り自動車道 芦北出水道路（津奈木IC～水俣IC） 開通**

平成31年3月2日に南九州西回り自動車道芦北出水道路津奈木IC～水俣IC（延長5.6km）が開通しました。これにより緊急医療時の搬送や災害時に国道3号の代替ルートとしての積極的な活用が期待されます。水俣ICでの開通式には自治体関係者など約200人が出席し、テープカットで開通を祝いました。

その他  
 ・大分県道49号大田杵築線（船部～溝井）  
 ・長崎自動車道II期線（長崎芒塚IC～長崎多良見IC）  
 ・北薩横断道路泊野道路（さつま泊野IC～きららIC）

## 令和元年度の本部主催の意見交換会テーマ決まる

PC建協では、令和元年度の国土交通省道路局、各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局との意見交換会について、基本となる提案テーマを次のとおり決定しました。  
なお、意見交換会は5月から10月にかけて開催される予定です。

- ①年度工事量の安定的な確保
- ②働き方改革の推進「週休2日モデル工事の検証と課題への対応」
- ・平成30年度モデル工事への取り組み状況
- ・週休2日を実施可能とする適切な工期の設定
- ・技能労働者の年収、及び妥当な工事利益の確保
- ③生産性向上の推進
- ・プレキャスト化の推進
- ・ICT技術活用の推進
- ④インフラ長寿命化への対応
- ・設計者と施工者が連携したPC橋保全補修工事の試行
- ・地方自治体支援に向けた工事発注形態の検討

## 平成30年度PC工学会と意見交換会を開催

PC工学会との意見交換会を平成31年3月4日、ホテルグランドアーク半蔵門で開催しました。今年で7回目。PC工学会からは宇治公隆会長ほか8人、PC建協からは藤井敏道会長ほか8人が参加しました。PC工学会より「PC工学会会員増加への取り組み」、「PCアーカイブスの取り組み」、PC建協より「PC技術専門家派遣の取り組み」、「PC普及の取り組み」の報告があり、PC普及に向けた取り組みや建設業界における明日の担い手の確保について意見を交換しました。



▲ PC工学会との意見交換会

## PC技術専門家を派遣

PC建協では、多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家を派遣しています。

### 【北海道支部】

平成31年1月16日と23日に北海道土木技術会コンクリート研究委員会との共催で北海道大学工学部環境社会工学科3年生約45人に講義を行いました。講義ではPCの概要と構造物について模型などを使って説明しました。また若手技術者が仕事の体験談を講話し、学生や先生方から好評をいただきました。



▲ 北海道大学での講義の様子

### 【関東支部】

平成31年3月14日に栃木県立那須清峰高等学校建設工学科の生徒約20人に講義を行いました。同校での専門家講義は今回が初めてでした。講義ではPC建協の活動紹介とさまざまなPC構造物やPC橋の概要を詳しく説明し、生徒たちは興味深く耳を傾けていました。



▲ 那須清峰高校での講義の様子

### 【関西支部】

平成31年1月28日大阪工業大学工学部都市デザイン工学科の3年生70人を対象に「PC特別講義」と題して、PC建協の概要、PC技術、PC設計演習などの講義を行いました。

平成31年1月以降に実施された  
その他のPC技術専門家派遣講義

開催日	支部名	学校名
1月 8日・15日	関西	大阪産業大学工学部
1月10日・2月1日	関東	茨城大学工学部
1月17日	九州	長崎大学工学部
1月18日	関東	中央大学理工学部
1月24日	関東	長野工業高等専門学校 環境都市工学科
1月25日	関東	木更津工業高等専門学校 環境都市工学科
1月28日	関東	日本大学理工学部 (交通システム工学科)
2月 4日	東北	岩手大学工学部



▲ 大阪工業大学での講義の様子

### 各地でPC技術講習会開催

PC技術に関する講習会が各地で開催され、講師を派遣しました。

#### 【東北支部】

平成31年2月15日に秋田県秋田市の秋田県建設・工業技術センターで行われた「鋼橋・PC橋技術研修会（主催：（一財）秋田県建設・工業技術センター）」で秋田県と市町村職員33人を対象にPC技術の講習会を行いました。講習会はPC橋の概要、コンクリート構造物の維持管理など基礎知識を中心とした内容でした。



▲ 技術研修会の模様

#### 【北陸支部】

平成31年3月1日に福井県福井市の福井県中小企業産業大学校で行われた「わかりやすいPC橋の施工技術と維持保全に対する実務講習会（共催：（公財）福井県建設技術公社）」で自治体職員、コンサルタント、施工業者など50人を対象にPC技術の講習を行いました。内容はPC橋の施工技術、県内の維持保全施工事例、PC構造物の維持保全などでした。



▲ 実務講習会の模様

### 現場見学会開催

PC建協支部が主催する現場見学会が各地で開催されました。

#### 【関東支部】

平成31年1月19日に神奈川県伊勢原市の「新東名高速道路秋山高架橋（PC上部工）」の工事現場で東海大学工学部の2年生など37人を対象に現場見学会を実施しました。

本橋は橋長731mで9径間連続箱桁橋と同572mの7径間連続箱桁橋（片持架設、固定支保工架設／川田建設・ドーピー建設工業・コアーツ工業JV）です。当日は事業概要や施工工程などを説明後、片持架設工法の作業状況や機材の見学を行いました。



▲ 作業状況・機材を見学する学生

その他  
・関東支部 首都高速道路(株)東京西局技術発表会(1月22日、2月28日)

また1月30日には群馬県高崎市の「小堀川橋工事現場」で群馬工業高等専門学校3年生41人を対象に現場見学会を行いました。

本橋は橋長172.0mのPC4径間連続桁橋（固定支保工架設／IH1インフラ建設・岩井建設JV、ピーエス三菱・高橋JV）です。当日は事業概要の説明と現場見学の後、展示ブースでアーチ橋モデルを作成しました。



▲ 固定支保工架設の状況を見学する学生

その他

(東北支部)

・2月5日(宮城県名取市・北釜大橋)

JICA研修生6人

・2月14日(福島県いわき市小名浜

5号橋) 福島工業高等専門学校

3年生43人

## 平成30年度高校生「橋梁模型」作品発表会

平成31年2月14日に仙台市青葉区のせんだいメディアアテックで「第17回高校生『橋梁模型』作品発表会」が行われました。今年は30点の応募の中から、青森県立弘前工業高等学校の「阿蘇望橋」が最優秀賞に、また秋田県立大館桂桜高等学校の「金名橋」と山形県立山形工業高等学校の「タウシュベツ川橋梁」が優秀賞に選ばれました。

PC建協東北支部は初年度から本発表会を共催しています。



▲ 最優秀賞作品の「阿蘇望橋」  
(長さ120cm×奥行39cm×高さ50cm、重量約9kg)

※阿蘇望橋はPCプレスの前号(1月発行)の巻頭記事で紹介した橋梁です。

## 令和元年度各種講習会日程

### 第27回プレストレストコンクリート建築技術講習会(PC建協主催)

【演題】

- ① 鏡野中学校武道館及びプール施設等「PCaPC工法による中学校校体育施設」(鈴江章宏建築設計事務所 鈴江章宏、Structural NEI 揚原茂雄)
- ② 横浜市立子安小学校

「PCa部材とRC部材を組み合わせた校舎の一事例」(株山本理頭設計工場 玉田誠、(株)構造計画プロセス・ワン 早稲倉章悟)

- ③ TDKテクニカルセンターW2棟「ワークプレイスの機能性・快適性・柔軟性を高める意匠・構造・設備を統合したオフィスシステム」(株)山下設計建築設計部門 大植哲、技術設計部門 堀米里史)
- ④ NIPPON本社ビル

「立地特性と意匠・構造が融合した建築・構造計画」(株)日本設計建築設計群 楯列哲也、構造設計群 中村伸)

【開催日・会場】

令和元年6月28日(金) 13時～17時

(メイン会場) 建築会館大ホール

(サブ会場・ネット中継)

AP大阪梅田茶屋町、名古屋駅オフィスパーク名駅プレミアホール403

### 第47回プレストレストコンクリート技術講習会(PC工学会主催)

【テーマ】

いま求められるPC技術

【題目】

- ① 熊本地震からの復旧事例に学ぶ橋の補修補強と維持管理
- ② PCaPC技術による構造デザイン
- ③ 高速道路の取組み
- ④ 新幹線建設と鉄道PC橋維持管理の最新動向
- ⑤ PC技術の国際動向(仮題)

【開催日・会場】

開催日	会場
6月4日(火)	東京・江東区文化センター
6月6日(木)	大阪・ドーンセンター
6月11日(火)	広島・広島市西区民文化センター
6月12日(水)	高松・ホテルパールガーデン
6月14日(金)	札幌・ホテル札幌ガーデンパレス
6月18日(火)	名古屋・ウインクあいち
6月21日(金)	新潟・新潟自治会館講堂
6月25日(火)	仙台・イズミティ21
6月26日(水)	福岡・福岡国際会議場

### 第9回PC工事技能実習

(PC工業協会主催)

【開催日・会場】

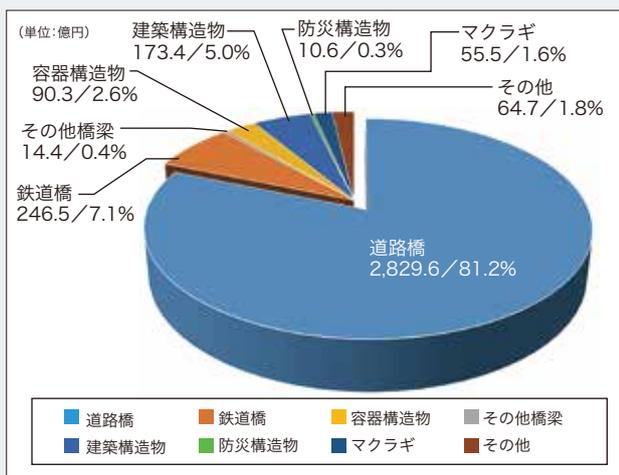
令和元年10月8日(火)～10日(木)

富士教育訓練センター

## PC統計(受注実績)

平成30年度のPC建協会員の受注額は、橋梁部門の微増と補修・補強部門の大幅な増加により、全体では3,485億円と前年度(3,010億円)より16%増加し、4期連続しての3,000億円超えとなりました。

用途別では、道路橋が2,830億円(前年度2,124億円)、鉄道橋が246億円(前年度287億円)となりました。道路橋の内訳は、新設工事が2,003億円(前年度1,587億円)、補修・補強工事が827億円(前年度537億円)となりました。



平成30年度用途別受注実績



年度別受注推移

### 編集委員会

柳橋 則夫(編集委員長)、櫻福 浄(副委員長)、高松 正伸(副委員長)、湯山 芳夫、大信田 秀治、鈴木 裕二、吉山 誠之、石井 一生、竹本 伸一、松嶋 憲昭

### 編集幹事会

久我 誠志(幹事長)、小谷 仁(副幹事長)、荒畑 智志(副幹事長)、小出 武、栗川 修、南 浩郎、大谷 圭介、杉村 卓也、木下 拓三、菅野 隆、岡本 修一、清水 郁子、上田 孝明、瀬戸 裕一郎、岩崎 麻美、小田切 隆幸

### 編集後記

今回の取材は「吉野・熊野」地方でした。紀伊半島のほぼ真ん中を通る国道168号を基軸に車を走らせ、時には険しい細い山道をたどり、その先にある瀟々、果無集落、玉置神社など秘境と悠久の歴史に触れることができました。言葉や一部の写真だけでは感じたことのすべてを伝えることは難しいので、一生に一度ぐらには是非この地に訪れ、その情景の素晴らしさを感じていただければと思います。また、国道168号では数多くのPC橋が使われ、本文中ではすべての紹介はできませんでしたが、幹線道路としてまた地域の生活道路として支えている姿を見ることができました。まだ整備の途中ではありますが、これからも道路整備の一翼を担っていきたくと改めて感じました。

特別企画では、受発注者一体の安全対策についてのテーマを取り上げ、対談とPC建協の取り組みを紹介しました。発注者側・受注者側として立場は違いますが「安心・安全な職場」の創出は共通の願いです。今回の企画を通じて「災害ゼロ」の一助になれば幸いです。(上田)